

中3クラス要項 [2025年度]

あざみ真学塾

<AZAMI>

対 象

- ・高校受験を目標とする中学3年生

指導科目

英語・数学・国語・理科(全分野)・社会(歴史, 地理, 公民)

*5科目必修とする[選択受講は不可]。各科とも中1～3の全内容を高校入試用に指導。

学 期 制

- ・中3クラスは、3月下旬～翌年2月末までの1年間を、以下の4期に分ける。

第1期：3～5月末 / 第2期：6～9月末 / 第3期：10～12月末 / 第4期：1～2月末

組 編 制

- ・中3クラスは、原則として、以下の習熟度別4組編制とする。

B1組：定員約10～12名 [榎町本部 101教室]

【注】・原則として、

B2組：定員約15～18名 [榎町本部 201, 202教室]

B2組の国語は

C1組：定員約15～18名 [榎町本部 201, 202教室]

9月末までは

C2組：定員約15～18名 [榎町本部 202教室]

高師教室で行う。

この組編制は、全科目総合(英数国理社)の習熟度によって決定し、原則として、
C2, C1, B2, B1の順だが、男女比等で C2=C1 / B2=B1 となる場合がある。

- ・各期ごとに、以下の要領で「組替え」を実施する。

第1期：当塾で行った「中3入塾試験」及び「学校成績(中2時)」等の成績を
参考として所属組を決定。

第2～4期：各期ごとの「判定試験成績」「各期内の各種試験成績」「宿題成績」「
出欠状況」「授業態度」「学校の成績」等を基準として所属組を決定。

成績連絡通信制度

- ・各期ごとに、当塾から保護者へ直接に生徒個人別の「塾試験成績(全)」「出欠状況」「宿題成績」「塾意見(個人別講評)」を伝達し、同時に「入試情報、資料」等も配付。

伝達時期

第1期分：6月上旬 / 第2期分：10月上旬 / 第3期分：1月上旬 / 第4期分：2月下旬

各科目の指導内容 [注] 授業時間は下記の通りだが、進度や組により、最高3時間

英語・数学 [1回各2時間40分] じっせん

- 各授業ごとに、授業前半 = 塾テキスト [受験用] を使って中1～3範囲の受験指導（第3期（9月～）から中3既習事項を含む） / 授業後半 = 中3教科書内容を指導。

英語：授業前半で「受験指導（塾作成プリント+重要問題）」、後半で「塾作成の中3教科書テキスト」の指導。隨時、リスニング演習や長文読解演習を実施。

数学：各授業の前半で「受験指導（中1～2範囲の塾作成テキスト+重要問題）」各授業の後半で「中3教科書テキスト（塾作成）」を使って中3教科書内容を指導。

- 英数とも12月までに塾テキスト&中3教科書は終了→1～2月は「入試直前対策」として塾作成プリントで中学3年間の総整理+公立、私立入試用の実戦演習指導と予想問題。

理科・社会 [1回各2時間40分]

- 理社ともに、中1～中3全範囲を受験用に指導するが、指導内容は以下の通り。

理科：単元ごとに「受験用総整理プリント」（塾作成）を配付して中1～3全範囲を指導し、別冊の「塾テキスト」で重要問題を解く（過去の入試問題を含む）。

社会：各授業ごとに塾作成プリント（教科書を受験用にまとめた総整理）を配付し、これを使用して、歴史、地理、公民の徹底理解と応用（思考力）を指導。

- 理社とも12月までに中1～中3の全範囲を終了→1～2月は「入試直前対策」として毎回、塾作成プリントを使用して、入試用実戦指導と入試出題予想の授業内容。

確認テスト [英数理社/マークシート+記述式]

- 英数理社は、毎回の授業の最後に、当日の授業内容を範囲に確認テストを実施。
→生徒各自の授業への集中力を高め、自らの理解度を確認させるため。

国語 [1回2時間40分]

- 毎回、塾作成プリント+塾テキストを使用して、入試問題に即した受験指導を行う。

入試用漢字範囲表（塾作成）を配付し、毎回、漢字試験を実施→漢字の読み書きを習得
授業前半で「長文読解」（塾作成プリント/論説文、小説文）、「古典」「聞き取り」「作文」
授業後半で「国文法」（塾作成テキスト/文法総整理+演習問題）を指導

- 10月まで長文、11月に古典、12月に聞き取り、作文→1～2月は「入試直前対策」で実戦指導

質問カード制度

- 授業中の生徒の質問は、その場で講師が回答するが、このほかに「質問カード」を生徒へ配付しておき、生徒が不明点などを提出→次回授業日に担当講師が解説解答を細かく書き、生徒へ返却（質問内容によっては、別時間で個別指導を実施）。

塾内実施の各種試験

定期試験：英数国の中3教科書の理解度を試すもの。学校の試験範囲に合わせる。

判定試験：塾の各期ごとに所属組決定の重要基準とするための試験（5科目）。

各期内の塾指導内容を全範囲とする。塾の各期末ごとに年3回実施。

塾模試：5科目の塾模試（国数英理社），年9回実施。志望校合格可能性を判定。

（実力テスト）業者テスト（進研，総進）及び当塾作成（入試予想）の模試。以下を予定。

第1回：4月 [進研 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]

第2回：6月 [総進 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]

第3回：8月 [進研 / 千葉県統一模試, 夏期講習最終日]

第4回：9月 [総進 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]

第5回：10月 [進研 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]

第6回：11月 [進研 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]

第7回：12月 [進研 / 会場テスト（進研の指定会場で受験）]

第8回：1月 [進研 / 千葉県統一模試, 冬期講習最終日]

第9回：2月 [当塾作成 / 千葉県公立高入試予想問題]

・業者テストは以前は中学校で実施されていたが、現在は塾中心に実施。千葉県内では、進学研究会と総進図書が最大規模。

学校試験対策 [内申対策]

- ・学校の中間、期末試験の対策として、その約1週間前に学校の試験範囲に合わせ、塾作成プリントを使用して総復習する。
- ・総復習の後で、学校試験の予想も兼ねて「定期試験」（当塾作成）を実施。

夏期講習会・冬期講習会

- ・中3対象の講習会を、通常授業以外に実施。公開とし、塾外生の受講可とする。
- ・講習会では、当塾作成の講習テキストを使い、最終日に志望高判定模試を実施。

夏期講習：7月末～8月中旬の約16日間、毎日約5～6時間ずつ中1～中3前半を範囲とした5科目の総復習と演習、応用力養成（7月上旬に要項配付）

冬期講習：12月下旬～1月上旬の約12日間、中1～中3全範囲を入試用に総整理。公立、私立入試の出題傾向と対策、予想中心に指導（12月上旬に要項配付）

入試直前対策

- ・各科目とも1月～2月末の期間に「入試直前対策授業」として、塾作成プリントを使用して中学3年間の総整理を指導し、公立入試及び私立入試で出題可能性高い予想重要点を指導→毎年、当塾の予想が本番入試でも数多く出題されている。
- ・「私立高入試対策」（1月上～中旬）「千葉県公立高入試対策」（1月中旬～2月中旬）

宿題の提出

- ・英語, 数学について, 原則としてほぼ毎回の授業日に塾作成の宿題プリントを課し, この宿題に関しては, 以下のように取り扱う。

1. 宿題は, 該当科目的 次回授業日に必ず提出すること (授業開始前に提出)。
2. 宿題はすべて点数をつけ, この成績は 所属組決定の総合点に算入する。
3. 宿題を当日に未提出の場合 又は 提出してもほとんどやっていないとみなされた場合は 当日の授業終了後に塾教室に残り, 宿題を完成させる場合がある (通常は, 9:30頃まで)。

【注】・宿題内容は当日の授業内容(過去問含む)。未提出が多い場合は, 退塾勧告の対象とする。

学校試験成績報告・塾模試成績表

- ・塾配付の「学校試験報告書」に, 中学校の中間, 期末試験, 実力テストの成績及び学期末評点(5段階内申点)をすべて記入し, 塾へ報告することとする。
⇒ 学校の試験結果が判明した頃に, 塾から生徒へ「学校試験報告書」を提出するよう伝える。
- ・塾で実施した模試成績(業者テスト)は, 各生徒個別の「塾模試成績表」に当塾が生徒の成績+個別講評を書きこみ, 業者発行の「個別成績表」(志望校合否判定表)と共に生徒を通して発行するので, 保護者はその動向を把握すること。

高校入試説明会・入試情報提供

- ・中3入塾時の「保護者説明会」で高校入試の概略を説明, さらに10月に当塾主催の「高校入試説明会」を実施し, 公立, 私立高の入試内容, 情報等を詳しく説明する。
- ・上記のほか, 塾の各学期ごとに隨時, 入試情報を保護者へ伝達する。

個別進学(進路)相談

- ・中3生に対し, 本人の志望校の合格可能性, 私立高選択, 今後の進路等に関する相談を個別に実施する [三者面談]。また, 勉強方法等の相談にも応じる。
原則として希望者のみとするが, この進学相談時に生徒が希望する公立高, 私立高の各種入試資料, 入試情報等を塾から提供する(面談時間 = 1組約1時間)。
- ・個別進学相談の実施期間 = 10月下旬~12月だが, 希望により, 保護者又は生徒が塾へ事前に連絡すれば, この期間以外でも相談に応じる。

家庭学習用問題集の紹介

- ・家庭学習用の受験問題集等を定期的に生徒へ見本を紹介し, 希望者へ配付する。
⇒ 詳細は, 口頭で説明。

各組の授業日程・原則として以下の通り。前月中に、翌月の「日程表」を配付。

夏時間（4月～9月末）[冬時間（10月～2月）= 5:50～8:30]

組/(曜)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	教室
B 1	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00	予備日	英語 (毎週) 6:20 ～9:00	数学 (毎週) 6:20 ～9:00		国語 (隔週) 6:20 ～9:00		本部 101 (全科)
B 2	国語 (隔週) 6:20 ～9:00		数学 (毎週) 6:20 ～9:00		英語 (毎週) 6:20 ～9:00	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00		本部 201, 202 (国語は高師)
C 1	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00		英語 (毎週) 6:20 ～9:00	数学 (毎週) 6:20 ～9:00			国語 (隔週) 6:20 ～9:00	本部 201, 202 (全科)
C 2	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00			英語 (毎週) 6:20 ～9:00	数学 (毎週) 6:20 ～9:00		国語 (隔週) 6:20 ～9:00	本部 202 (全科)

【注意事項】

- 各科目の授業時間 = 1回 2:40（途中で10分休み）/ 進度状況、組により3時間あり
- 各組とも、原則として毎月、英語4、数学4、国語2、理社4の合計14日間。
- 原則として、祝祭日も授業は行う（ただし、5月の連休に例外あり）。
- 学校行事、塾の行事（運動会、講習会など）で、曜日、時間が変更になる場合がある。
- 総体のある7月は、原則として、7:20～9:00の時間帯となる科目がある。

振替受講制度：特別な理由で受講できない授業あれば、申請により他の組での受講を認める。

[注] 特別な理由 = 学校行事（部活等）、法定又は突発的病気、家庭の冠婚葬祭 等に限る。

欠席、遅刻、早退について

- 中3生徒は入試をひかえ、1つ1つの授業が非常に重要であり、1回の授業時時間が2時間40分と長く、密度も濃いので、できるだけ、欠席、遅刻などをしないこと。
 - ① 部活など特別な理由で遅刻の場合は、塾の事務室入口（玄関口）から入り、「遅刻確認表」に氏名、理由等を記載してから教室に入ること。
 - ② 欠席、遅刻の場合は、保護者が塾へ電話連絡すること（後日の連絡でも可）。
- 連絡時間帯：午後 3:00～9:30 [留守電の場合は伝言を入れること / 火曜は定休日]
- ③ 何らかの理由で早退する場合は、生徒は、必ず講師に伝えること（無断の早退は不可）。
- 早退のときは、塾から保護者へ電話連絡し、状況によっては、迎えをお願いする。

担当講師

文系：足立 達人（長生高, 慶應大） 足立 圭司（長生高, 早稲田大）

松田 良和（長生高, 専修大） 岡本 幸大（長生高, 駒澤大）

理数系：齋藤 茂（長生高, 千葉大）足立 光行（長生高, 早稲田大）

高山 和輝（長生高, 明学大）内山 伸大（千葉南高, 敬愛大）村上 直樹（長生高, 日本大）

土屋 航（長生高, 早稲田大）長南京佑（長生高, 東洋大）

事務担当：足立 美佐江 野坂 彩那

月謝・諸費用

月謝 - 1ヶ月 18,500円（消費税別） 入学金 - 無料 光熱費等 - 無料

・入塾時（進級時）に、以下を月謝と共に納入。3月の月謝は割引き（別紙参照）

年間プリント代, 諸雑費（1年分） - 13,000円 [入塾月に納入]（税別）

塾テキスト代（5科目, 1年分） - 9,000円 [" "]（ " " ）

塾模試代（業者テスト/1年分） - 9,000円 [" "]（ " " ）（一部を塾が負担）

【注】・会場テスト代金（12月）は含まず（→各自が負担（代金一部を塾が負担））

・第3回（8月）と第8回（1月）は講習代金に含む。第9回（当塾作成）は無料

配付物 ・英語 - 塾テキスト+問題集1冊, 英語教科書テキスト5冊

（1年分）・数学 - 塾テキスト1冊, 数学教科書テキスト7冊

・理科 - 塾テキスト1冊, 受験用問題集1冊

・社会 - 塾テキスト3冊（歴史, 地理, 公民の各1冊ずつ）

・国語 - 塾テキスト1冊, 入試用漢字範囲表13部

・塾プリント保存用バインダー10冊（通常の英数国理社+入試直前対策用5冊）

注意事項

- ① 月謝（消費税含む）は、原則として、銀行口座からの振替（引落）とする → 口頭で説明。
- ② 中途入塾の場合は「年間プリント代, 諸雑費」の分を月割りで減額する。
- ③ 中途退塾の場合は「年間プリント代, 諸雑費」の分を月割りで返却する。
- ④ 兄弟姉妹の同時在籍者は、双方の全費用、月謝を約20～30%割り引く（別紙参照）。
- ⑤ 夏期講習, 冬期講習の代金は別途納入。夏講のある8月分月謝は通常金額よりも割り引く。
- ⑥ まじめで勉学意欲のある生徒で、家庭の経済的理由がある場合に、保護者からその旨の申し出があった場合は、全費用、月謝等を相談の上で割り引くこととする。